

I. 広東省

1. 胡春華・省党書記が広州市、省科学院を視察

●19日、胡春華・省党書記が広州市、省科学院を訪れ、イノベーションの応用状況について視察。胡書記は科学技術の研究成果を現実の生産力に転換し、真のイノベーションによる発展を推進していくよう強調（8月20日付『南方日報』）。

2. 胡春華・省党書記が深圳市を視察

●21日、深圳市で胡春華・省党書記主宰の座談会が開催され、ベンチャーキャピタル業界の発展状況について視察し、関連企業から意見・提案を聴取。現在、深圳市で登記をしているプライベートファンドは3,726社で、6,485のファンド（9,657億元）を管理し、約4万人が従事しており、全国の約5分の1を占めている（8月22日付『南方日報』）。

3. 法治普及業務に関する全省テレビ電話会議の開催

●22日午前、省党宣伝部、省司法庁、省法律普及弁公室が「六五（2011年～2015年）法治普及」業務について総括し、「七五（2016年～2020年）法治普及」期間の同業務について動員するため、上記会議を開催。胡春華・省党書記が重要な指示を出し、朱小丹・省長が講話（8月23日付『南方日報』）。※5年を1期とする法治普及業務は1986年からスタートした。

4. 胡春華・省党書記、朱小丹・省長が金立群・A I I B総裁一行と会談

●22日午後、上記会談で胡春華・省党書記は、広東省は「一帯一路」建設に積極的に参加しているところであり、国家戦略の中で対外開放度を向上させるべく努力しており、A I I Bとの協力は前途が明るいと述べ、同省とA I I Bは港湾、空港、ランド・ブリッジ等のインフラ建設において協力を強化し、ウィンウィンの発展を実現していきたいと要望。任学鋒・広州市党書記等も同席（8月23日付『南方日報』）。

5. 省党常務委員会議の開催

●23日午前、胡春華・省党書記主宰の上記会議が開催され、中央の「一帯一路」建設推進にかかる業務座談会、全国衛生・健康大会の精神を伝達・学習（8月24日付『南方日報』）。

6. 珠江デルタ地域の創新駆動推進に関する現場会議の開催

●23日、東莞市で珠江デルタ地域の創新駆動に基づく発展を推進し、ハイテク技術企業を育成するための業務に関する現場会議が開催され、胡春華・省党書記が出席し講話。朱小丹・省長が業務を手配。併せて、東莞天安デジタル城、中国科学院クラウドセンター、易事特公司、生益科学技術等の新型研究開発機関、ハイテク技術企業を視察（8月24日付『南方日報』）。

7. 第15期全省指導者幹部党紀・政紀・法紀教育トレーニング・コースが開始

●24日午前、省党校で上記トレーニング・コースが始まり、胡春華・省党書記が講話。朱小丹・省長がガイダンス。黄龍雲・省人代常務委員会主任、王栄・省政協主席も出席（8月25日付『南方日報』）。

8. 胡春華・省党書記が陳永棋・香港-広東社会団体総会主席一行と会談

●24日午前、上記会談で胡春華・省党書記は、更に良好な架け橋・紐帯機能を発揮し、より多くの香港企業の広東省での発展を推進し、同省と香港の各層が交流・協力を深めるよう促進し、ウィンウィンの関係を実現してもらいたいと要望（8月25日付『南方日報』）。

9. 第11回汎珠江デルタ大会が開幕

●25日、広州市で上記大会が開幕し、胡春華・省党書記、崔世安・マカオ特別行政区長官、于偉国・福建省長、朱小丹・省長、何立峰・国家発展改革委員会副主任、王受文・商務部副部長等が出席（8月26日付『南方日報』）。

10. 省政府常務会議の開催

●25日午後、朱小丹・省長主宰の上記会議で、生活サービス業の発展を急ぎ、消費構造をレベルアップさせるための業務等について検討し手配。5年以内に農業関連のリーディング・カンパニー数を5,000社以上にしていくことを目指すとした（8月26日付『南方日報』）。

11. 朱小丹・省長一行がアフリカ3か国を訪問

●南アフリカのクワズール・ナタール州知事、エチオピアの外務大臣、ケニアの工業化・企業発展大臣の招待を受けて、朱小丹・省長率いる省政府代表団が8月26日～9月5日の日程で、アフリカ3か国を訪問する（8月26日付『南方日報』）。

12. 広東自貿区グローバル企業のCEOとの交流会を開催

●26日午前、広東自貿区の米GM、米イトン・エレクトリック、独シーメンス、英HSBC、英スタンダードライフ、伊フェレッティ、韓LG等グローバル企業28社のCEOとの交流会が開催され、何忠友・副省長が出席。広東自貿区広州・南沙エリア管理委員会とドバイ空港自貿区管理局が戦略的協力覚書に署名。同深圳・前海・蛇口エリアの華強グループとインドネシアのバクリグループが了解覚書に署名。同珠海・横琴エリア管理委員会とイランのゲシュム自由貿易区が観光協力協定に署名。省発展改革委員会、珠海市政府、英ECPファンド管理公司、横琴金融投資有限公司がノーベル・持続可能な発展産業及びノーベル・持続可能な発展基金戦略的協力覚書に署名（8月27日付『南方日報』）。

II. 広州市

1. 全人代広州代表チームが湛江市を視察

●19日～21日、全人代・省人代の段取りに基づき、陳建華・市人代常務委員会主任率いる上記チームが「製造業のイノベーション力とコア競争力の強化」をテーマに湛江市を訪れ、中国-クウェート石油精製・化学工業一体化プロジェクト、宝鋼湛江鋼鉄拠点プロジェクトの建設状況を視察し、座談会を開催（8月22日付『広州日報』）。

2. 北京市視察団が広州市を訪問

●22日～23日、陳剛・北京市副市長率いる同市視察団が広州市を訪れ、都市計画・建設・管理業務について視察。任学鋒・市党書記、温国輝・市長がそれぞれ視察団に同行し、座談会を開催（8月24日付『広州日報』）。

3. 市政府常務会議の開催

●23日午後、温国輝・市長主宰の上記会議で、「安全な生産の監督・法の執行強化に関する実施意見」、「広州市工商登記事前審査項目（改訂版）」等について審議し採択（8月24日付『広州日報』）。

4. 第14期市人代常務委員会第55回会議の開催

●24日、陳建華・市人代常務委員会主任主宰の上記会議で、市人代法制委員会が提出した「改革刷新の促進に関する決定」等について審議し採択。劉瑜梅・天河区党副書記を広州市観光局局長に任命（8月25日付『広州日報』）。

5. 任学鋒・市党書記が広州税関を視察

●25日、市党第10期第9回全体会議の精神を深く貫徹・実行し、広州市の貿易発展を促進するため、任学鋒・市党書記が広州税関空輸センターを訪れ、通関申告所、税関監督・管理・検査区、「インターネット+税関・郵政e通」プラットフォームを視察し座談会を開催。任書記は貿易の新たな強みを育成し、開放型経済の水準を高めていくよう強調（8月26日付『広州日報』）。

6. 何立峰・国家発展改革委員会副主任が広州市を視察

●25日、何立峰・国家発展改革委員会副主任が広州市の臨空経済（航空運輸を中心とした経済発展）について視察。任学鋒・市党書記、譚万庚・南方航空集团公司党組織書記が視察に同行（8月26日付『広州日報』）。

7. 第24回広州博覧会が開幕

●26日午前、上記博覧会が開幕し、温国輝・市長が朱学慶・広西チワン族自治区梧州市長、タイ・中国経済協会主席等、国内外の来賓と会談。今回の展覧会場面積は約12万㎡、展示ブースは約6,000、3つの総合展示館と8つの専門展示館が設けられている。国内約30省・市、国外約10の国と地域、香港・マカオ・台湾から出展・参加（8月27日付『広州日報』）。

8. 区党書記業務会議の開催

●26日、任学鋒・市党書記主宰の上記会議で、第11期省党第7回全体会議、第10期市党第9回全体会議の精神を深く貫徹・実行し、各業務に全面的にしっかりと取り組み、実施していくための更なる手配を行なった。任書記は業務に全力投球し、本年の所期目標の実現を確保するよう強調（8月27日付『広州日報』）。

9. 広州市と梅州市のペアリング支援業務に関する座談会の開催

●先頃、任学鋒・市党書記、温国輝・市長が譚君鉄・梅州市党書記、方利旭・梅州市長代理一行と上記座談会を開催。産業の共同建設を強化し、ペアリング支援による貧困救済において新たな成果が得られるよう推進していくことで合意（8月27日付『広州日報』）。

10. 広州・ロシア貨物列車の運行開始

●28日午前、広州発としては初めての中欧向け国際貨物列車が正式に運行を開始。全行程は1万1,500km、終点はロシアのカルーガ州ヴォルシノ（モスクワの西南約80km）、所要日数は2週間。貨物の内容は衣料品、靴、帽子、布、家具、照明、家電、電子製品等となっている（8月28日付『広州日報』）。

III. 深圳市

1. 市党常務委員会会議の開催

●21日晚、馬興瑞・市党書記主宰の上記会議で、全国衛生・健康大会の精神を伝達・貫徹し、深圳市で実施するための意見について検討（8月22日付『深圳特区報』）。

2. 深圳市で2016年メディアミックス発展フォーラムが開幕

●22日午前、「職責と使命」をテーマとする人民日報社、深圳市党委員会、市政府共催の上記フォーラムが開幕。中央・国家関連部門、地方宣伝部責任者、中央・地方メディア代表、インターネット関連企業の関係者、著名な専門家等、約500人の来賓が深圳市に集まり、習近平・総書記のニュース・世論工作に関する重要講話の精神を更に貫徹・実行し、新たな時期におけるニュース・世論工作を担う職責と使命をめぐる、メディアミックスの発展を更に深化させるべく、交流・検討を深めた（8月22日、23日付『深圳特区報』）。

3. 許勤・市長が南山区を視察

●23日午前、上記視察で許勤・市長は、全国衛生・健康大会の精神を真剣に実行し、良質な医療サービスの提供を全面的に強化するよう強調（8月24日付『深圳特区報』）。

4. 第6回市人代常務委員会第10回会議が開幕

●23日午前、丘海・市人代常務委員会主任主宰の上記会議が開幕し、「最も重要な部分」の1つである一連の政府の「帳簿」が提出され審議。この度提出された政府の「帳簿」は、深圳市の2015年度決算草案報告書、同予算執行・その他財政収支の審議報告書、同土地譲渡収支状況報告書、2016年上半期国民経済・社会発展計画実施状況報告書、同予算調整案報告書、同政府投資プロジェクト計画調整案報告書等である（8月24日付『深圳特区報』）。

5. 「一帯一路」をめぐる活動の展開

●17日～20日にかけて、タイ-中国文化・経済協会の招待を受けた深圳市国際交流・協力基金が、バンコクで開催された2016年タイ戦略的研究博覧会、第5回タイ-中国戦略検討会に参加し、同基金と同協会が戦略的協力覚書に署名。これは同基金が署名した7つめのグローバルな戦略的協力パートナーシップとなる。双方は今後、双方向のフォーラムの開催、深圳市とタイの企業代表団による双方向の視察等を積極的に組織し、「一帯一路」戦略をめぐる豊富なテーマに関する活動を展開していく（8月24日付『深圳特区報』）。

6. 馬興瑞・市党書記がハイテク技術開発区を視察

●24日午前、馬興瑞・市党書記が南山区のハイテク技術開発区を訪れ、産業パークや関連社会組織の党建設状況を視察。馬書記は党組織による指導の中心的な役割を十分に発揮し、党建設業務の責任をしっかりと果たすよう強調（8月25日付『深圳特区報』）。

7. 経済動向に関する座談会の開催

●25日午後、学者や企業家代表を招いて、現在の経済動向について分析し、供給構造改革の深化、下半期の経済業務に関する意見を聴取。馬興瑞・市党書記が主宰（8月26日付『深圳特区報』）。

8. 第6期市党第3回全体会議の開催

●26日午前、馬興瑞・市党書記主宰の上記会議で、使命を銘記し大胆に探索し、初心を忘れず引き続き前進し、「4つの全面」の切り込み隊長、「4つの自信」の実践者となるよう強調（8月27日付『深圳特区報』）。